

ごみを減らすことは、みなさんの未来を守ることです!

緊急事態発生!!

「何気なく出しているごみ」、実はこんな影響が!

ごみが増えると埋立処分する場所がなくなったり、ごみ処理経費が増えるなどの影響があります。さらに、すぐに目には見えない問題として、地球温室効果ガスの一つであるCO₂(二酸化炭素)の増加による影響も出てきます。身近なごみの問題ですが、実は地球環境に及ぶ大きな問題を抱えています。

ごみ焼却による
CO₂増加
(地球温暖化加速)

もう上げられない
埋立処分場の圧迫

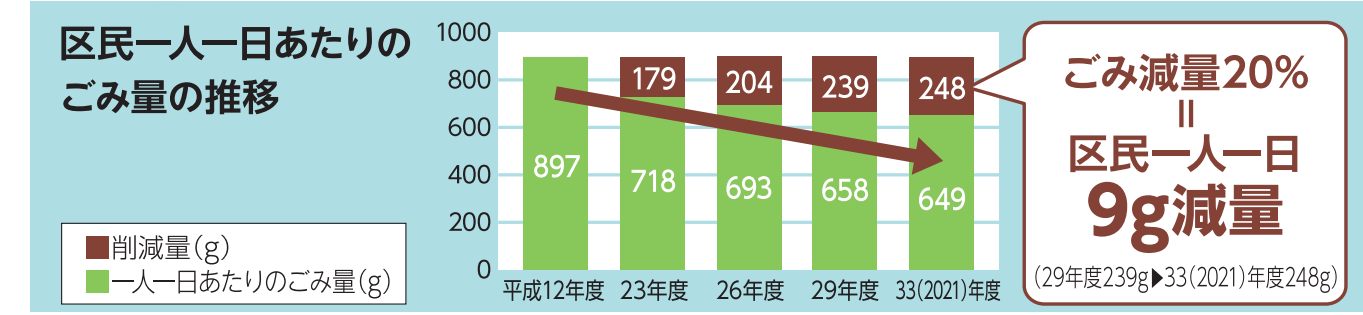
大切な税金
ごみ処理経費の増大

埋立処分場には限界があります。
清掃工場などで焼却したあとに残る灰や不燃物などは最終処分場に運び埋立処分します。現在使用している埋立処分場は、東京港に作る事ができる最後の処分場であり、このままでは、概ね50年しか使用することができません。

目指せ! -20%!!

区が目標にしているごみ減量とは?

区ではごみを減らすための目標を掲げた計画書「Edogawaごみダイエットプラン」を策定し、平成33(2021)年度までに平成12年度比でごみ減量20%をめざしています。現在まで、減量目標に向かって概ね順調に推移していますが、これからも区民が一丸となってごみ減量に努めなければなりません。



いざ実践!!

今日からわたしたちにできること

「3R」でごみを減らそう!

「3R」はごみ減量のキーワード

3Rを知っていますか? 3Rとはごみを減らすための合言葉です。Reduce(リデュース/ごみを作らない)・Reuse(リユース/繰り返し使う)・Recycle(リサイクル/資源として活用する)の3つの行動のことで、この3つの英単語の頭文字をとって3Rといいます。特に、ごみを作らないリデュースが、3つの行動の中で最も重要です。一人ひとりが3Rを心がけ、生活することが大切です。

はじめの
R **リデュース**
ごみを作らない

いちばん大切なR!

- 買う前に必要かどうかもう一度考えよう
- 買うときにゴミを増やさないものを選ぼう
- 処分しようとする前にまだ使えるかどうか確認しよう

2番目の
R **リユース**
繰り返し使う

- 不用になったときには「もったいない」の心で考えよう

最後の
R **リサイクル**
資源として活用する

- どうしても処分するときには、リサイクルできるか考えよう

具体的な3Rの方法はいろいろありそうですね。一緒に考えてみよう。

毎日の生活の中でちょっとずつ意識すればそんなに難しくなさそうですね。